

2015年度 通期業績見通しの修正 [IFRS]

2016年3月24日

三菱商事株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料で開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(本資料における留意点について)

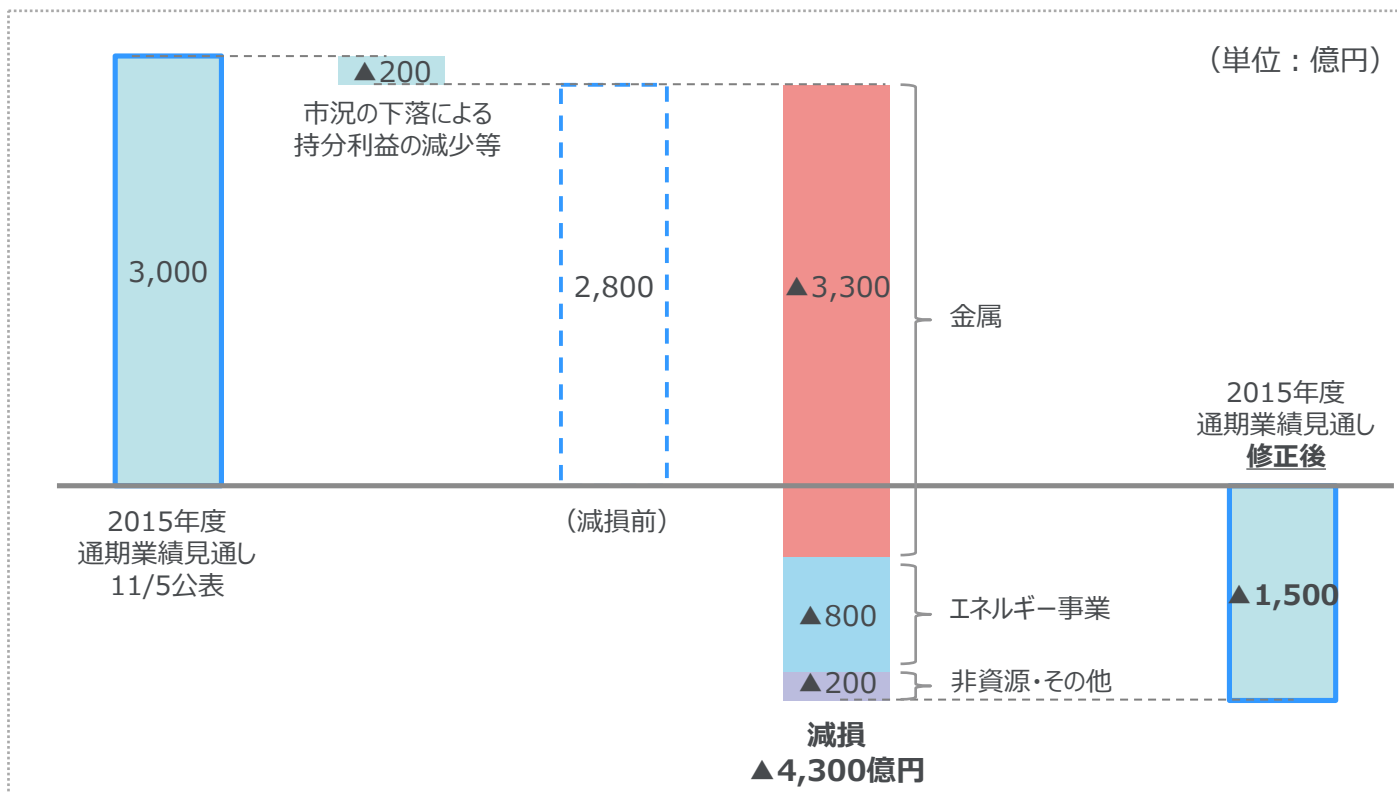
- 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。

本日のポイント

- ✓ 通期業績見通しを▲1,500億円の赤字に下方修正する。
- ✓ 低迷する資源価格を踏まえ保有資産を入念に精査した結果、チリ銅事業など、総額で▲4,300億円の減損を見込む。
- ✓ 1株当たり配当金額は50円（安定部分）を維持する。

2015年度 通期業績見通しの修正

	11月5日公表	修正後	増減
連結純利益	3,000億円	▲1,500億円	▲4,500億円
資源	200億円	▲3,900億円	▲4,100億円
非資源	2,760億円	2,300億円	▲460億円
1株当たり配当	50円	50円	—



2015年度業績見通し 大口損失の状況

(単位：億円)	大口損失 通期累計	損失計上に至った経緯等
資源（金属） チリ・銅（AAS） 豪州・鉄鉱石 南ア・フェロクロム 小計	▲2,800 ▲300 ▲200 ▲3,300	銅価格見通しの引き下げ（P.5参照） 鉄鉱石価格の下落 フェロクロム価格の下落
資源（エネルギー事業） 西豪州 ブラウズLNG E&P事業 アジア 北海（廃坑費） 北米 シェールガス その他 小計	▲400 ▲120 ▲70 ▲60 ▲30 ▲120 ▲800	開発計画の見直し（P.6参照） 原油・ガス価格見通しの引き下げ 廃坑費の見直し 原油・ガス価格見通しの引き下げ 遊休資産の再評価
非資源・その他	▲200	海外発電事業、船舶関連等
合計	▲4,300	

チリ銅事業（アングロ・アメリカン・スール/AAS）

- ✓ 2011年11月にAAS社株式の24.5%をアングロ・アメリカン社より53.9億米ドルで取得。
その後、2012年8月に4.1%を9.0億米ドルで売却しており、当社の出資比率は20.4%となっている。
- ✓ 足元銅市況の低迷が継続する中で、事業環境の改善には時間を要することが見込まれるため、
2015年度決算において、中長期的な価格見通しを¢300/lb前後に引き下げることとした。
- ✓ また、銅市況の低迷に加え、新規鉱山プロジェクトの開発期間の長期化等も踏まえて総合的に見直した結果、
2015年度決算で約▲2,800億円（税後）の減損を行うこととした。

投資簿価（減損前） 約 4,700 億円

減損額 約▲2,800 億円

投資簿価（減損後） 約 1,900 億円

西豪州ブラウズLNG事業

- ✓ 当社が50%出資するJapan Australia LNG (MIMI Browse)社を通じて、2012年9月に西豪州ブラウズLNGプロジェクト権益の7.2%（わが社持分）をWoodside Energy社より10億米ドルで取得。
- ✓ 急激な原油・ガス価格の下落を受けて、従来取り進めてきたFloating LNG（浮体式液化設備）による開発実行は当面見送ることが決定されたため、2015年度決算において、約▲400億円（税後）の減損を行うこととした。

投資簿価（減損前）	約 1,300 億円	
減損額	約 ▲ 600 億円	（税後 約 ▲ 400億円）
投資簿価（減損後）	約 700 億円	